

平成25年度「産発プロジェクト展開鉄鋼研究」募集案内

日本鉄鋼協会では、「日本鉄鋼業の技術力を発展成長させる上で重要かつ基盤的なテーマ領域を鉄鋼企業(産)が選定し、大学等の研究者を募り、産学連携チームで鉄鋼業に大きなインパクトを与える(国家プロジェクトに提案できるレベル程度)研究を推進する。あわせて大学等における鉄鋼研究の振興活性化を図る。」ことを目的として「産発プロジェクト展開鉄鋼研究」への助成を平成18年度より開始いたしました。

平成25年度の研究テーマを下記要領にて募集いたします(平成24年8月31日(金)応募締切)。

なお、応募に際しては、提案の研究期間終了後の展開(どのような国家プロジェクトあるいは実用化研究にどのように発展させるのか等[注1])を見据えて、具体的な研究提案[注2]をお願いいたします。

当制度は下記の特徴を有しており、この点をご理解の上、多数の応募をお願いいたします。

①企業との連携により開発の優位性(実用性、多様性、迅速化)が得られること

②終了後の発展的継続(国家プロジェクト、企業共研)を推進できること

注1: 企業選定のテーマ領域ではありますが、必ずしも短期での実用化を必要とするものではなく、一定の技術的知見が得られれば成果と認められます。また、応募テーマ自体が国家プロジェクトレベルでなくとも、大規模プロジェクトへの導入的開発と認められる研究であれば選考の対象と致します。

注2: 新規テーマの立案に加えて、以下の視点での提案も可能です。

①公の大規模施設の利用(J-PARC、SPRING-8、スパコン、etc)を行うもの

②過去の不採択テーマであっても、最新の環境変化を反映して内容が見直されたもの

③本会研究会の完了テーマを基に、更なる発展的開発テーマとしたもの(現在活動中の研究会テーマとの重複提案は不可)

1. 応募対象

鉄鋼業に共通する重要かつ基盤的な次の研究テーマ領域に属するテーマであること。

分類	研究テーマ領域
高効率製造プロセス	高生産性プロセス
	差別化商品製造プロセス
	ものづくり一貫最適化プロセス、ものづくり将来システム
資源対応	低品位原料の利用技術(鉄鉱石/石炭)
	稀少資源分離回収技術
環境・エネルギー対応	地球環境対応、CO ₂ 削減技術、CO ₂ 分離・固定技術
	資源循環/社会ニーズ対応技術、副生物・発生物の資源化技術
	革新的エネルギー回収・利用技術
鉄鋼材料関連 (輸送機械・電機対応) (社会インフラ・建設対応)	省エネ・温暖化ガス削減のための鉄鋼材料技術、接合・利用加工技術
	安心・安全・快適な生活のための鉄鋼材料技術、接合・利用加工技術
	高機能鋼材の研究、革新的表面処理技術の研究
	構造物の寿命予測・健全度モニタリング技術、長寿命化技術
	復興・再生並びに災害からの安全性向上への対応(リスキミング含む)
計測・評価・分析・解析	鉄鋼材料生産および材質評価のための新計測技術
	鉄鋼材料の新分析・解析・評価技術、計算科学技術

2. 助成金額・期間

①助成金額: 総額4,000万円以内/件かつ2,000万円以内/年度を原則とする。

②助成期間: 原則3年以内とする。

ただし、本会の判断により、助成金額の増減、期間の短縮・延長、助成の打ち切りをする場合がある。

3. 助成の方法

研究費は、国内の大学およびこれに準ずる研究機関の研究実施者に、原則として委託研究・共同研究等の方法で支給する。支給の方法は、研究テーマにより本会にて判断する。

4. 応募方法・申請期間

提案書(本会ホームページ <http://www.isij.or.jp/Josei/index.htm> よりダウンロードしてご使用下さい)に必要事項を記入し、PDFファイル形式で、鉄鋼協会事務局に提出。

応募期限: 平成24年8月31日(金) <期日厳守>

5. 応募資格

- ①申請チームは、本会正会員3名以上を含むものであること（上限は無し）。
- ②うち、2名は大学またはこれに準ずる研究機関に所属する正会員であること。
- ③うち、1名は大口維持会員企業に所属する正会員であること。

6. 応募に際しての留意点

- ①必要に応じてプレゼンテーションをお願いすることがあります（平成24年10月頃）。
- ②採否は、平成24年12月中旬に書面にて連絡いたします。
- ③採択課題への研究費の支給は、研究計画の最終確認を行った上で、平成25年4月以降となります。
- ④現在活動中（2年度、最終年度）の鉄鋼協会研究会テーマによる応募も認めますが、活動2年度目の研究会テーマが採択となった場合、研究会は2年度までで活動終了となります。
- ⑤提案内容によって、1年間プロジェクト立ち上げのための準備活動をお願いする場合があります。その場合、必要な活動費を支給いたします。
- ⑥応募書類は返却しませんのでご了承下さい。また、応募された内容は一切公開いたしません。

7. 採択後の注意事項

(1) 報告事項

- ①年度毎の研究計画を作成する。
- ②年度末に活動報告書と経費使用実績を提出する。この報告書に基づき中間評価を受ける。
- ③最終年度に終了報告書を提出し、最終評価を受ける。
- ④活動期間が終了してから1年後に、その後の展開状況について報告する。
- ⑤研究成果は本会のシンポジウム、論文誌、成果報告書等で発表する。

(2) 情報ならびに知的財産権に関する扱い

提案が採択された場合、研究活動において取扱われる情報及び研究の成果として発生する知的財産権に関しては本会の定める以下の規定に従う。（本会ホームページ掲載）。

- ①著作権規程、②助成事業規程、③産発プロジェクト展開鉄鋼研究規程、④発明等に関する規程、⑤情報管理規程

8. 応募・問合せ先

(社) 日本鉄鋼協会 学会・生産技術部門事務局 技術企画・部会グループ 大島
TEL. 03-5209-7014、FAX. 03-3257-1110、E-mail: sanhatsu@isij.or.jp

9. 参考：産発プロジェクト展開鉄鋼研究の過去の採択テーマ実績

採択年度	研究テーマ	代表者 (所属)	研究期間
平成18年度	中性子利用鉄鋼評価技術の基礎検討に係る研究	友田 陽 (茨城大学)	平成18～20年度 (3年間)
平成19年度	マルチスケールのアプローチによる鉄鋼材料の変形限界支配因子の解明	高木節雄 (九州大学)	平成19～21年度 (3年間)
	鉄鋼材料の大気腐食寿命を数値シミュレーションするための基盤技術構築に係る研究	武藤 泉 (東北大学)	平成19～21年度 (3年間)
平成20年度	鉄鋼材料を対象とした凝固組織過程のその場観察手法の開発と応用	安田秀幸 (大阪大学)	平成20～22年度 (3年間)
	ダストメイキングテクノロジーの開発	長坂徹也 (東北大学)	平成20～22年度 (3年間)
平成21年度	該当なし		
平成22年度	海洋環境での製鋼スラグの利用技術開発	月橋文孝 (東京大学)	平成22～24年度 (3年間)
平成23年度	4Dイメージング実現による鉄鋼材料研究の飛躍的高度化	戸田裕之 (豊橋技科大)	平成23～25年度 (3年間)
平成24年度	製鋼スラグによる東日本大震災で被災した沿岸田園地域の再生	北村 信也 (東北大)	平成24～26年度 (3年間)